

報告 コープぎふの「おしゃべりパーティー」でつづっている場づくりの取り組み

報告者：コープぎふ武野典子理事・服部ゆかり理事

コープぎふで取り組んできた「おしゃべりパーティー」。今では地域で気軽にみんなが集まる「えんがわ」のような場にもなっているようです。そんな中、長年続けた組合員の奥さんが亡くなられて、ご主人が組合員として利用しながら「おしゃべりパーティー」に参加されるようになった事例もありました。

報告 南医療生協子育てひろばの取り組みから「ママクルフェスタ」「赤ちゃん同窓会」の取り組み

報告者：南医療生協ママクル参加者

南医療生協では子育てひろばを14か所で開催しています。子育てママさんにとって、大切な悩み相談の場になっています。ママクル班で「悩んでいるお母さん集まって！」と案内したところ100人の予定が、300人のお母さんが来てびっくり！

報告 地域でのくらしを支え続ける池内福祉会の取り組み

報告者：社会福祉法人池内福祉会 丹下由紀子理事長

共同保育所づくりから始まった池内福祉会。今では昭和区を中心に、保育所を3つ、障がい者の作業所、常設の子育てひろばを運営されています。安心して豊にくらせる社会を目指し、個人の尊厳を保持しながら、その幸福を追求する社会福祉事業に取り組む実践を紹介していただきます。

報告 奥三河地域で農協が取り組む地域支え合い事業の取り組み

報告者：JA愛知東から

JA愛知東では生活支援部をつくり、アンケートもとって、地域での支え合い事業を考え合ってきました。JA、社会福祉協議会、コープあいち、地元の社会福祉法人等と一緒に、互いに補い合っこれから取り組もうとしている支え合い事業について、今考えている事を紹介していただきます。

特定非営利活動法人地域と協同の研究センター

第9回東海交流フォーラム参加申込書

2月15日(金)までにお申し込みください

FAX又はメールにて申し込みください。 FAX:052-781-8315 E-mail: AEL03416@nifty.com

お名前	電話番号	所属
午前のみ・午後のみ参加の場合は 下記にご都合を記入ください。		お弁当不要の場合(資料代300円のみ) 下記に をつけてください。
		不要

いただいた個人情報は、第9回東海交流フォーラムに関わっての連絡がある場合にのみ利用させていただきます。

第9回東海交流フォーラム

協同がよいよい社会を築きます！

～協同の目的を深め合い

よいよい社会とくらしづくりを目指した実践を学ぶ～

主催：第9回東海交流フォーラム実行委員会

2012国際協同組合年のスローガンは「協同組合がよいよい社会を築きます」です。第9回東海交流フォーラムでは、私たちの社会が直面する諸問題から、協同組合や各団体が、協同の力で、よいよい社会とくらしづくりをすすめるようとする実践を紹介し合います。困難の多い社会を乗り越えていくために必要なこと、一人一人が考えたいことは何か、みんなが希望を持つことができる未来を、考え合しましょう！

日時：2月23日(土)

10時30分～15時30分

会場：ウインクあいち 5階 小ホール

参加費：800円(資料代・お弁当代込)

お弁当が不要の場合は資料代(300円)のみとなります。

会場地図



電車をご利用の場合
(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より

JR名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面
徒歩5分

ユニモール地下街 5番出口
徒歩2分
名駅地下街サンロードからミ

当日のスケジュール

プログラム

10:00 開場 ウィンクあいち名古屋駅から徒歩5分です。

10:30 開会 あいさつ

問題提起：“日本が今直面する現実”

～一般的な生活の危機、生命の危機にある今の社会～

地域と協同の研究センター 顧問 高橋 正 氏

実践交流「地域でのよりよい社会とくらしづくりを目指した協同の実践」
高橋氏の問題提起を踏まえ、8つの実践を報告いただきます。

報告 大学生の食と健康を支える大学生協の取り組み
報告者：山本昌也氏（全国大学生協連東海ブロック事務局次長）

報告 地域での支えあい助け合い『ささえあいシート』の取り組み
報告者：南医療生協非常勤理事さん（予定）

報告 配送センターと福祉グループとの連携で取り組んでいること
報告者：コープあいち名東センター 小河原昌二センター長

12:30 昼食

13:15 報告 コープみえの高齢者利用支援の取り組みのその後
報告者：コープみえ大安センター 宮部博充センター長

報告 コープぎふのおしゃべりパーティーでつくっている場づくりの取り組み
報告者：コープぎふ 武野典子理事・服部ゆかり理事

報告 南医療生協子育てひろばのとりくみから
「ママクルフェスタ」「赤ちゃん同窓会」のとりくみ
報告者：南医療生協ママクル参加者

報告 地域でのくらしを支え続ける池内福祉会の取り組み
報告者：社会福祉法人池内福祉会 丹下由紀子理事長

報告 奥三河地域で農協が取り組む地域支え合い事業の取り組み
報告者：JA愛知東から

質問・意見交流

閉会あいさつ

15:30 閉会

お問い合わせ：特定非営利活動法人地域と協同の研究センター

〒464-0824 名古屋市千種区稲舟通1-39

TEL 052-781-8280 FAX 052-781-8315

e-mail: AEL03416@nifty.com URL: <http://www.tiki-kyodo.net/>



問題提起 “日本が今直面する現実”

～一般的な生活の危機、生命の危機にある今の社会～

地域と協同の研究センター 顧問 高橋 正 氏

高橋 正（たかはし ただし）氏

元みかわ市民生協・元めいきん生協の理事長・現コープあいち顧問
地域と協同の研究センター顧問・愛知大学名誉教授

生活の危機、生命の危機を感じ、先行きの見通しがなかなか持てない現実が今あります。今回、生協に長く関わってみたい高橋先生から、私たちが大きな視点で社会を捉え直していけるよう問題提起いただき、人々の生活を支えていく協同の取り組み、協同組合の役割を考えていけるようにします。



報告 大学生の食と健康を支える大学生協の取り組み

報告者：山本昌也氏（全国大学生協連東海ブロック事務局次長）

今、大学生の一日の食費は平均で500円くらいです。お昼はお菓子という食事は当たり前！大学生協が南医療生協に協力いただき実施した健診では、骨の弱い子ども、大学生にとって食べることがおそろかにされているような現実があります。私たちは何を考えていく必要があるのでしょうか？

報告 地域での支えあい助け合い『ささえあいシート』の取り組み

報告者：南医療生協非常勤理事さん（予定）

せっかく病気が治って退院しても、帰ると一人暮らしとなる高齢者の方のくらしがあります。南医療生協には、困っている組合員がいる場合、本人の了解を得て、職員がその内容をシートに書き込み、地域の組合員につなげてたすけあいをより進めるための「ささえあいシート」の取り組みがあります。

報告 配送センターと福祉グループとの連携で取り組んでいること

報告者：コープあいち名東センター小河原センター長

永年生協を利用してきた組合員が高齢となって、一人暮らしになって、その時生協はどんな存在になっているのでしょうか。福祉グループの職員と配送センター担当者が一緒になって、くらしを支えている取り組みが名東センターであります。

報告 コープみえの高齢者利用支援の取り組みのその後

報告者：コープみえ大安センター宮部博充センター長

2年前に開催した第7回東海交流フォーラムで、コープみえでは、高齢化が進む地域で、高齢者へ電話サービスを始め、電話を待っている方もいるという生協と地域の組合員との関わりを報告いただきました。そんな取り組みのその後を、今回報告いただきます。

